

見守り活動を始める方へ

交野警察署より、見守り活動におけるポイントです。
子供たちの安全はもちろんですが、見守りをする方の安全も大切です。
決して無理をされずに、以下のことを参考にしてください。



〇不用意に道路に出ない！

用事がないのに道路に出たり、信号が変わったからといって、すぐに道路に出てはダメです。黄信号(ほぼ赤)でも車が突っ込んでくることがあります。道路に出る時は、必ず安全確認をしてから！

〇車の死角にならない！

交差点などに立つ時や、信号待ちや児童が来るのを待っている時も、物かげではなく、ドライバーから見える場所で活動しましょう。

〇車の動きから目を離さない！

車が減速したので止まってくれるだろうと思い込んではいけません。常に車の存在を意識して行動しましょう。

〇運転手と目を合わせましょう！

ドライバーがこちらの存在を認識しているか確認しましょう。また、目が合うと、ドライバーは「止まってあげよう」という心理がはたらくようです。

〇動作は大きく！

中途半端な動作はドライバーも混乱します。恥ずかしがらずに大きな動作で！

〇止まってくれた車へ感謝を！

「車は止まって当然」と考えずに、協力してくれたドライバーには一礼を！
ドライバーとの関係が出来上がれば、この先もずっと協力してくれるでしょう。

〇子供の特性を理解しよう！

子供(特に低学年)は大人より視野が狭く視野も低いので、大人が気づいた危険を、危険だと感じていないことがあります。そのため、急に走り出したり、飛び出すこともあります。信号待ちや横断を待っている時は、一步下がらせるようにし、常に注意を払いましょう。

